

授業 科目名	【G】	現代社会とスポーツ	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2	
	【H】	現代社会とスポーツ			【H】1		【H】2	
	【I】	現代社会とスポーツ	その他参照		【I】1		【I】2	
科目区分	保健体育科目:教教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目(全教科)							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための(全教科選択必修)科目 【H】 教員の免許状取得のための(全教科選択必修)科目 【I】 教員の免許状取得のための(全教科選択必修)科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目「体育」							
サブ タイトル	〈する〉〈勝敗〉とは異なる体育・スポーツ、武道、オリンピックの価値やあり方を探ろう			担当者	青柳 秀幸			
授業概要	【概要】	本講義では、スポーツおよび関連事象を人文社会科学的な観点から建設的かつ批判的に考察する。各回毎に、教育学、倫理学、歴史学等、諸領域の知見を用い、現代社会においてスポーツに期待されている事柄やスポーツを巡る現代的課題に関する基礎的知識を習得し、体育・スポーツ、武道、オリンピック・ムーブメントの価値およびあり方について理解を深める。併せて、学びを通じて受講者自身のスポーツ観の更新・相対化を試みる。						
	【到達目標】	【知識・技能】スポーツおよび関連事象を考察する際に人文社会科学的な観点を活用することの意義を理解し、説明することができる 【思考力・判断力・表現力】現代社会におけるスポーツおよび関連事象について、光(功)と影(罪)どちらかに傾倒することなく事例や学術成果に基づいて理解していると共に、自身の見解を自らの言葉で説明、文章表現することができる 【主体性・多様性・協働性】他者と協調・協働しながら、主体的に課題に取り組むことができる						
履修条件	他者の学びの時間・環境を尊重すること							
アクティブ ラーニングの 方法	【-】	事前学習型	【-】	反転授業	【○】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【○】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【○】	PBL	【○】	レポート内容の講評
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	○ (やや当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	○ (やや当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	◎ (よく当てはまる)						
他科目との 関連性	人文社会および自然科学系科目を問わず、スポーツに関する他の科目の基本的な内容について取り上げる							
教科書	友添秀則・岡出美則編著(2016)教養としての体育原理 新版:現代の体育・スポーツを考えるために. 大衆館書店							
参考書	友添秀則編著(2017)よくわかるスポーツ倫理学. ミネルヴァ書房. 他にも、必要に応じて授業内で紹介する。							
評価方法	ミニレポート50%、小テスト40%、授業への取り組み及び貢献など10%。単位認定には、授業数の2/3に相当する10回以上の出席を必要とする。授業や予習・復習に真摯に取り組み優れた成果及び成績を修めた受講生には、小テストを免除する場合がある。〈知識・技能〉〈思考力・判断力・表現力〉は、予習および復習に関するミニレポート、小テストで評価する。〈主体性・多様性・協働性〉は、受講態度、ペアワークやグループディスカッションへの参加態度・貢献度、ミニレポート提出率で評価する。授業に関する不適切な言動は減点および指導対象とする。							
フィードバック 方法	・評価基準に則ってミニレポートを評価し、適宜返却・フィードバックする ・ミニレポートの内容の一部を授業で紹介し、授業内で教員が講評する							
評価基準	到達目標に掲げた内容および授業内容をよく理解し、自らの言葉で適切に説明、文章表現できた者はその程度に応じて「S」または「A」、理解内容や表現に何らかの不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、理解内容が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。なお、出席要件を満たさない場合や最低限の評価に必要な課題の未提出など、評価不能な場合は「F」とする。							

授 業	【G】	現代社会とスポーツ	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
	【H】	現代社会とスポーツ	その他参照		【H】1		【H】2
	【I】	現代社会とスポーツ			【I】1		【I】2
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス：授業の目的、内容、評価方法の確認。教員・受講者との交流を通じて、自身のスポーツ観の相対化を試みる 予習： シラバスを通読する。自身のスポーツとの関わりを振り返る 復習： ミニレポートの作成、提出（90分）						
2	哲学、史学：「体育」「スポーツ」とは何か？ / 体育・スポーツ科学領域における人文社会科学領域の位置付け・観点の概要確認。 予習： 前回の復習を基に、「体育」「スポーツ」のイメージを整理する 復習： ミニレポートの作成、提出（90分）						
3	倫理学、史学、社会学：「体育・スポーツ嫌い」の存在と理由、歴史的・社会的背景 予習： 記憶や経験、知人の言動から「体育・スポーツ嫌い」の原因を探る 復習： ミニレポートの作成、提出（90分）						
4	史学、教育学、法学：スポーツから享受でき得る恩恵と国際的なスポーツの意義 予習： 記憶や経験、知人の言動から「スポーツの恩恵」を考える 復習： ミニレポートの作成、提出（90分）						
5	哲学、史学、教育学：オリンピック・ムーブメントの理念（オリンピズム）とその教育的な意義、価値 予習： 記憶や経験、知人の言動からオリンピックのイメージを整理する 復習： ミニレポートの作成、提出（90分）						
6	史学、社会学、教育学：日本におけるオリンピックの理念の普及活動の歴史（1959～1964）と現代（2020+1～） 予習： 競技大会を超えたムーブメントの事例を調査する 復習： ミニレポートの作成、提出（90分）						
7	教育学、法学：日本におけるオリンピックの理念（オリンピズムや教育／平和的価値）の普及活動の歴史と、現代 予習： 自身の学歴、進路希望先に関する教育目標や、業界・企業理念を調査する 復習： ミニレポートの作成、提出（90分）						
8	中間まとめ：現代社会における体育・スポーツの功罪、光と影 予習： 前半の学びを他者と協調・協働しながら整理する。 復習： ミニレポートの作成、提出（90分）						
9	領域横断：専門家に学ぶ 予習： 事前に提示されたトピックの周辺情報を収集、整理する 復習： ミニレポートの作成、提出（90分）						
10	社会学：「スポーツ界」という社会構造（組織part） 予習： スポーツ関連組織について情報収集する 復習： ミニレポートの作成、提出（90分）						
11	社会学：「スポーツ界」という社会構造（産業part） 予習： スポーツ関連産業について情報収集する 復習： ミニレポートの作成、提出（90分）						
12	倫理学・法学：オリンピックが映す政治・差別・人権問題、課題 予習： 事例に基づく「政治・差別・人権問題」を調査・抽出する 復習： ミニレポートの作成、提出（90分）						
13	哲学、倫理学：スポーツにおけるゲーム、ルール 予習： 競技・種目を超えて「ルール」を複数抽出し、その性質について検討する 復習： ミニレポートの作成、提出（90分）						
14	領域横断：小テスト 予習： これまでの学びを整理・反芻し、自身の見解を文章表現できるようにする 復習： ミニレポートの作成、提出（90分）						
15	まとめ：自身のスポーツ観を再考する、相対化させる。清和大学における今後の学びや進路、明日からのスポーツライフとの関連性や接点を探る 予習： 受講前との思考の変化の有無、視野や観点の拡がりの有無を考える 復習： ミニレポートの作成、提出（90分）						
その他	予習および復習は、それぞれ90分程度を目安にしてください。それらの学びと授業時間内での学びを総合することで、到達目標の達成が見込めます。授業では、ペアワークやグループディスカッション、発言、質疑応答の機会を設けます。スポーツパーソンシップを意識した積極的な参加・発言・協調を歓迎します。 ※G・H・カリ:法【選択必修修(キ)】スポ【必修】情【選択必修修(キ)】						